

岩下 淳子 様

ウインドウを閉じる

シラバス参照

講義名	薬局法規		
(副題)			
講義開講時期	春学期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	1時限
実務経験の有無	有		
実務経験の内容	都内の病院・クリニックにおいて、レセプト作成・点検業務及び医事コンピュータによるレセプト作成業務等を行う医療事務員としての実務経験		
対象	商学科1年次		
備考	選択		

担当教員		
職種	氏名	所属
助教	◎ 岩下 淳子	専任

★学習到達目標	調剤報酬請求事務専門士の資格取得を目指し、医薬品の基礎知識や医薬品関連法規を理解習得します。また、調剤補助業務について学ぶことで実務能力を養います。
★授業概要	医師は診断・治療を行い、薬物治療が必要と判断した時は処方箋を発行します。調剤薬局はその処方箋をもとに薬剤師が薬剤を調剤し提供する施設です。医師が治療を行い、薬剤師が薬剤提供を行う医薬分業の割合は年々増加しています。それに伴い調剤報酬明細書の発行枚数も増加しており、調剤報酬請求事務の教育が必要となっています。講義では、調剤薬局と保険調剤及び調剤補助業務について学びます。また、医薬品関連法規や調剤薬局事務に必要な法的知識を習得します。
★学修成果・DPとの関連性	地域を支え、産業界の発展を目指す意欲/ビジネスの実務能力と鋭敏な感性/かたよらずとらわれない精神/他者を慮る精神

★授業計画表				
回	項目	内容	予習	復習
第1回	保険薬局と保険調剤 保険薬局でよく使用する尊敬語と謙譲語	保険薬局と保険調剤について 保険薬局でよく使用する尊敬語と謙譲語について 接遇用語の実習（グループワーク）	保険薬局と保険調剤についてテキストを読んでおいてください。	保険薬局の指定と更新、必要な届出事項、保険薬局の役割、保険調剤の流れと業務を中心に理解できるまでテキストを読み返してください。
第2回	調剤報酬の支払いとその機構 保険薬局でよく使用する尊敬語と謙譲語	調剤録と薬剤服用歴、処方箋について 保険薬局でよく使用する尊敬語と謙譲語について 接遇用語の実習（グループワーク）	お薬手帳、処方箋記載上の注意事項を中心にテキストを読んでおいてください。	お薬手帳、処方箋記載上の注意事項を中心に理解できるまでテキストを読み返してください。
第3回	保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則 特殊医薬品の取り扱い規制 保険薬局でよく使用する尊敬語と謙譲語	保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則について 特殊医薬品（麻薬・向精神薬など）の取り扱い規制について 保険薬局でよく使用する尊敬語と謙譲語について 接遇用語の実習（グループワーク）	保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則、特殊医薬品の取り扱い規制についてテキストを読んでおいてください。	保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則、特殊医薬品の取り扱い規制について理解できるまでテキストを読み返してください。
第4回	医療関連法規 薬の基礎知識 保険薬局でよく使用する尊敬語と謙譲語	医療機器の定義、後発医薬品、一般用医薬品（OTC医薬品）、要指導医薬品について 薬剤の剤形、薬物の相互作用について 保険薬局でよく使用する尊敬語と謙譲語について 接遇用語の実習（グループワーク）	医療関連法規、薬の基礎知識についてテキストを読んでおいてください。	医療機器の定義、後発医薬品（ジェネリック医薬品）、一般用医薬品（OTC医薬品）、要指導医薬品、薬剤の剤形、薬物の相互作用を中心に理解できるまでテキストを読み返してください。

第5回	個人情報保護法 医療保険制度 保険薬局でよく使用する尊敬語と謙譲語	個人情報保護法について 医療保険の種類、被用者保険と国民健康保険、後期高齢者医療制度などについて 保険薬局でよく使用する尊敬語と謙譲語について 接遇用語の実習（グループワーク）	個人情報保護法、医療保険の種類、被用者保険と国民健康保険、後期高齢者医療制度などについて テキストを読んでおいてください。	個人情報保護法、医療保険の種類、被用者保険と国民健康保険、後期高齢者医療制度などについて、授業で説明したところを中心に理解できるまでテキストを読み返してください。
第6回	介護保険制度 高額療養費と保険外併用療養費 保険薬局でよく使用する尊敬語と謙譲語	介護保険給付と負担割合、介護保険の請求方法などについて 高額療養費と保険外併用療養費の制度や仕組みについて 保険薬局でよく使用する尊敬語と謙譲語について 接遇用語の実習（グループワーク）	介護保険給付と負担割合、介護保険の請求方法、高額療養費と保険外併用療養費などについてテキストを読んでおいてください。	介護保険給付と負担割合、介護保険の請求方法、高額療養費と保険外併用療養費などについて、授業で説明したところを中心に理解できるまでテキストを読み返してください。
第7回	公費 公害医療 労働者災害補償保険 自賠責保険	公費の種類、受給資格などについて 公害医療について 労働者災害補償保険制度と療養（補償）等給付などについて 自賠責保険について 接遇用語の実習（グループワーク）	公費の種類、受給資格、公害医療、労働者災害補償保険制度と療養（補償）等給付、アフターケア、自賠責保険などについてテキストを読んでおいてください。	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、生活保護法、公害医療、労働者災害補償保険制度と療養（補償）等給付、自賠責保険など、授業で説明したところを中心にテキストを読み返してください。
第8回	調剤基本料	調剤基本料について	調剤基本料についてテキストを読んでおいてください。	調剤基本料について理解できるまでテキストを読み返してください。
第9回	調剤基本料の加算 薬剤料と特定保険医療材料	調剤基本料の加算（地域支援体制加算、後発医薬品調剤体制加算など）について 薬剤料と特定保険医療材料について	調剤基本料の加算（地域支援体制加算、後発医薬品調剤体制加算など）、薬剤料と特定保険医療材料などについてテキストを読んでおいてください。	調剤基本料の加算（地域支援体制加算、後発医薬品調剤体制加算など）、薬剤料と特定保険医療材料など授業で説明したところを中心にテキストを読み返してください。
第10回	薬剤調製料 調剤技術料の加算	薬剤調製料（内服薬、屯服薬、注射薬、外用薬）について 調剤技術料の加算（麻薬・向精神薬・覚せい剤原料又は毒薬加算、時間外加算等、自家製剤加算、計量混合調剤加算）について	薬剤調製料（内服薬、屯服薬、注射薬、外用薬）、調剤技術料の加算（麻薬等加算、時間外加算等、自家製剤加算、計量混合調剤加算、在宅患者調剤加算）についてテキストを読んでおいてください。	薬剤調製料（内服薬、屯服薬、注射薬、外用薬）、調剤技術料の加算（麻薬等加算、時間外加算等、自家製剤加算、計量混合調剤加算、在宅患者調剤加算）についてテキストを読み返してください。
第11回	薬学管理料（調剤管理料など）	薬学管理料（調剤管理料とその加算、服薬管理指導料、服薬管理指導料の加算、かかりつけ薬剤師指導料など）について	薬学管理料（調剤管理料とその加算、服薬管理指導料、服薬管理指導料の加算、かかりつけ薬剤師指導料など）についてテキストを読んでおいてください。	薬学管理料（調剤管理料とその加算、服薬管理指導料、服薬管理指導料の加算、かかりつけ薬剤師指導料など）について授業で説明したところを中心に理解できるまでテキストを読み返してください。
第12回	薬学管理料（外来服薬支援料など）	薬学管理料（外来服薬支援料、服用薬剤調整支援料、在宅患者訪問薬剤管理指導料など）について	薬学管理料（外来服薬支援料、服用薬剤調整支援料、在宅患者訪問薬剤管理指導料など）についてテキストを読んでおいてください。	薬学管理料（外来服薬支援料、服用薬剤調整支援料、在宅患者訪問薬剤管理指導料など）について授業で説明したところを中心に理解できるまでテキストを読み返してください。
第13回	学科問題（保険薬局の指定と更新・処方箋・保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則・特殊医薬品・医療関連法規・個人情報保護法など）	過去の学科問題に取り組む（特に保険薬局の指定と更新・処方箋・保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則・特殊医薬品・医療関連法規・個人情報保護法などを中心に）	授業で学んだところ、授業で配布したプリント（特に保険薬局の指定と更新・処方箋・保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則・特殊医薬品・医療関連法規・個人情報保護法など）を中心に繰り返し読んでおいてください。	学科問題で誤った問題を中心に繰り返し復習してください。（特に保険薬局の指定と更新・処方箋・保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則・特殊医薬品・医療関連法規・個人情報保護法など）
第14回	学科問題（医療保険の種類・被用者保険と国民健康保険、後期高齢者医療制度・介護保険など）	過去の学科問題に取り組む（特に医療保険の種類・被用者保険と国民健康保険、後期高齢者医療制度・介護保険などを中心に）	授業で学んだところ、授業で配布したプリント（特に医療保険の種類・被用者保険と国民健康保険、後期高齢者医療制度・介護保険など）を中心に繰り返し読んでおいてください。	学科問題で誤った問題を中心に繰り返し復習してください。（特に医療保険の種類・被用者保険と国民健康保険、後期高齢者医療制度・介護保険など）
第15回	学科問題（高額療養費・保険外併用療養費・公費・公害医療・労災保険・自賠責保険など）	過去の学科問題に取り組む（特に高額療養費・保険外併用療養費・公費・公害医療・労災保険・自賠責保険などを中心に）	授業で学んだところ、授業で配布したプリント（特に高額療養費・保険外併用療養費・公費・公害医療・労災保険・自賠責保険など）を中心に繰り返し読んでおいてください。	学科問題で誤った問題を中心に繰り返し復習してください。（特に高額療養費・保険外併用療養費・公費・公害医療・労災保険・自賠責保険など）

★授業形式・アクティブラーニング比率	講義 70%、アクティブラーニング 30%
★評価方法・評価基準・フィードバックなど	定期試験80%・小テスト10%・平常点（受講態度・課題提出）10% 課題のフィードバック：所定の書式を用い、学務課を通して個別に応じます。希望者は成績問い合わせ票に必要事項を記入し、学務課に提出してください。
★テキスト	調剤報酬請求事務専門士検定協会 編『調剤報酬テキスト』（株式会社日本医療総合支援評議会）定価3,200円（税別） 調剤報酬請求事務専門士検定協会 編『処方せん問題集』（株式会社日本医療総合支援評議会）定価2,500円（税別） ※調剤事務Ⅰ・Ⅱで使用する調剤報酬テキスト・処方箋問題集と同じです。

★参考文献	なし
オフィスアワー(授業相談)	本館3階の掲示板参照
★学生へのメッセージ	調剤報酬請求事務専門士の資格取得を目指す場合は、1年次(春学期)で調剤事務Ⅰ、1年次(秋学期)で調剤事務Ⅱ、2年次(春学期)で調剤事務演習を学びます。また、1年次(秋学期)には調剤事務コンピュータを履修しましょう。薬局法規、調剤事務Ⅰ・Ⅱ、調剤事務コンピュータを並行して学ぶことで理解が深まります。 授業内でWebテストを実施し、その回答を共有し意見交換をすることがありますので、タブレットやスマートフォンを用意してください。
★事前事後学習(内容・時間)	毎回宿題を出します。誤ったところや疑問点は速やかに解決することで理解が深まります。わからない時は必ず質問に来てください。また、予習は60分、復習は毎日30分(1週間に150分)以上してください。

[ウインドウを閉じる](#)